

# 三年学年だより

No. 1

4月号

令和6年4月発行

3年学年主任

36期生の高校生活最終章、素直であれ。

例年3月末から咲きはじめる校庭の桜は今年は少し遅れ気味で、いつもなら始業式の頃には葉桜になっていますが、今年はとてもきれいな桜吹雪が見られるかもしれません。

君たち36期生の高校生活最終章のスタートです。君たちが中央高校で学んだたくさんのことを卒業後に君たちが参加する社会で表現する。その瞬間まであと1年になりました。その瞬間を迎えるまでに君たちが身に付けなければならないことは、まだまだたくさんあります。明治時代から続いた「大人は20歳から」が「18歳から」に変わって数年が経ちました。君たちは高校在学中の今年から「大人」となります。社会から大人に対して求められるものは君たちの想像以上。そのことに対応できる人間に、これからの1年で成長しなければなりません。私自身も大人になる君たちに大人としての対応ができればと思っています。

さて、今年度の君たちの最大の使命は、なんといっても進路実現です。そのために日々の生活を大切に、一步一步着実に成長していかなければなりません。君たちの夢は、研究し、努力し、保護者の方や担任の先生と話をすることにより、目標が変わります。夢を夢のままで終わらせるわけにはいきません。新年度のスタートにあたって、まずはしっかりとした目標にすること（目標であることを再確認すること）が大切です。そして、その目標を達成するために、さらに研究し、努力し、保護者の方や担任の先生と話をすること。これの繰り返しが目標達成の大きな近道になります。その繰り返しの中で、壁にぶつかるときもある。そのときに周囲から、アドバイスをいただくときもあるでしょう。その中には自分の意に反することや、そうは思っても思い通りにならないこと、そのようなことも一度や二度は必ずあります。それも君たちの成長を願うことばです。そこで素直になること。そうすることが君たちを大きく成長させることとなるでしょう。

「成長するときは、困難や失敗の後。批判は成長をさせてくれる。でも批判する人は成長しない。批判する人は自分の成長をなげうってまで周囲を成長させてくれる人。」数年前、テレビでサッカーの解説をしていた岡田武史氏が、苦勞しながらワールドカップに出場を決めたサッカー日本代表に向けていったことばです。少し変え、君たちに送ります。「成長するときは、挑戦や努力による汗と涙を流した後。君たちへのことばは君たちを成長させてくれる。それに対して、言い訳をする人、あきらめる人、周囲のせいにする人は成長しない。そのような人は自分の成長をなげうっている人。」家族からのことば、担任の先生からのことば、友人からのことば、君たちに向けられるたくさんのことばを大切にしてください。そのことばがたとえ意に反するものでも、素直な気持ちでそのことばを聞きましよう。そして、そのことばの意味を考えましよう。

さあ皆さん。受験生ですね。頑張ってください。私の経験でいうと、君たちとともに頑張る家族も受験生。ともに頑張る先生方も受験生。そのように君たちを思い、ともに進む人が周囲にはたくさんいます。その人たちの思いを大切に。素直であれ。